



十西小だより

弥富市立十四山西部小学校
学校だより 第36号



令和2年1月22日



防災教室

1月20日(月)に弥富防災・ゼロの会の方を講師にお招きし、防災教室を行いました。「水害について」というテーマで、伊勢湾台風のときの弥富市の状況や住んでいる土地の特徴を知ることの大切さ、海部地区での排水機場の役割などについてお話をいただきました。また、いざというときの行動や避難場所について、日頃から家族で話し合っておくことや、運動や勉強でがんばるように、訓練に真剣に取り組み、避難についてもベストを尽くすことが大切であるということ学びました。

防災教室で心に残ったことは、これからどこへ避難するか、自分でどのように命を守るかということです。地震や津波はとてもおそろしいことなので、避難する場所を話し合ったり、必要な物を用意したりしておくことが避難するときに大切だと分かりました。これから、自分自身でおそろしい地震や津波から命を守るようにしたいです。(5年)

自分の町には津波はいつか来るもので、自分は子どもだから関係ないのではないかと思っていました。本日の防災教室で、水の災害は、本当に怖いもので、すぐに命を失ってしまうことを知りました。家に帰ったら、本日教えてもらったことをおじいちゃん、おばあちゃんに教え、災害に備えたいです。(6年)



外国語活動・外国語の実施に向けて



来年度から、3・4年生に外国語活動が新設され、5・6年生の外国語活動が外国語という教科になります。これに向けて、本校では、昨年度からALTの先生に講師をしていただき、教職員の英語研修を行ってきました。授業の進め方や会話など、回を重ねるにつれ、英語に慣れ、表現できる楽しさが増してきたように思います。ALTのカーリー先生は、「分からない表現は気にしなくてもよい。メモをしておき、調べればよい。

自分の知りたいことが分かることが大切。小さな積み重ねがやがてたくさんになる」と教えてくださいました。これは、どの教科にも言えることだと思います。来年度に向けて、私たちも小さな積み重ねを続けていきたいと思っています。

